



令和3年5月12日

新年度を迎え、早くも1か月がたちました。都市部を中心に緊急事態宣言が延長され、新型コロナウイルスの感染者数も増加傾向にありますが、上越市内では、高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種が始まるなど、徐々にではありますがコロナ禍収束の兆しが見えてきたと感じています。

1. 直江津港湾協会だよりを発行します

新型コロナウイルス感染拡大により、集会型のイベント自粛など、当協会においても会員の皆さまが集まり、情報交換や懇親を深める機会が減っている状況が続いています。

そこで、直江津港での出来事などをお届けし、皆さまと情報を共有できるようにという思いで、直江津港湾協会だよりを発行することといたしました。

会員の皆さまからも発信したい情報がありましたら、お気軽にご連絡ください。(時期等の都合でご希望に添えない場合もございます。ご了承ください)

2. 令和3年度通常総会講演会

演題：北陸港湾ビジョン「日本海北前船構想2030」

講師：国土交通省北陸地方整備局次長岸弘之様

通常総会終了後、北陸地方整備局の岸次長から北陸港湾ビジョン「日本海北前船構想2030」について講演をいただきました。

グローバルサプライチェーンの維持・発展、日本海側のエネルギー拠点、太平洋側での災害発生時のバックアップ体制など、地理的優位性を生かした直江津港の重要性が益々高まっていくことが期待されます。



◀ 北陸港湾ビジョンはこちら



◀ 講演会の様子

3. 佐渡汽船の運航が始まりました

今年から、船が高速カーフェリー「あかね」からジェットフォイル「ぎんが」に変更となり、佐渡島までの所要時間は100分から75分に短縮されます。

4月29日、運航初日の第一便を、古城小学校の児童による太鼓演奏と「上越忠義隊けんけんず」でお見送りしました。また、児童が船長さんへ花束を贈り、安全運航をお願いしました。

直江津小学校では、ターミナルのロビーに海や川に関する総合学習の成果を展示し、ジェットフォイル搭乗口付近には「直江津のお宝」をテーマにしたクイズを掲示するなど、ターミナルを盛り上げています。



◀ 太鼓演奏の様子



◀ 予約はこちら
佐渡汽船の

▶ 直江津小学校の展示



▶ ジェットフォイルぎんが

